

2014年10月12日 「ペンテコステの大役事を興す為に」 石川祐司教会長

本日の訓読のみ言を掲載いたします。

<訓読のみ言>

『天聖經』

第九篇 家庭教会と氏族的メシヤ 第三章 教会長の道

第五節 教会長と伝道

14 「私」が生命を捧げて悪を屈服させれば、生命を探し出すことのできる神様の愛が私のところに來ます。これは公式です。秤の重りと同じです。片方が下がれば、もう片方は上がります。悪を多く取り除けば善が上がり、悪を多くもてば善が下がるのです。これと同じです。悪を取り除いた分だけ、愛をくれるのです。ですから、神様は、誰よりも神様を愛しなさいと言ったのです。神様をもっと愛しなさいというのは、神様をより愛した分だけ、神様の愛をさらに受けるということです。すなわち、神様を愛したので、神様の愛を受けるということです。

15 伝道するときは、必ず精誠を捧げ、天を抱き締めて涙を流しながら、「私が、きょう出会う人との縁を破綻させる天倫の反逆者にならず、すべての人に歓迎され、ここに動機を呼び起こすことのできる人になるようにしてください」と言わなければなりません。そのような心で伝道に出てみてください。そのようにしないで、晴れない気持ちのまま、村で一番良い人を訪ねていけば、冷遇され、追い出されるのです。

そのようなことを皆さんが生活を通して体験し、「ああ、天がこのようなところには共にいらっしゃり、このようなところには共にいらっしゃらないのだなあ！」ということを実験しながら判別して行ってこそ、皆さんが発展し、人格修養にもなり、神様の心情世界に到達できるのです。欲心ばかりを抱いたまま、あぐらをかいて座り、自分の利益だけを考えてはいけません。